

# 第45回 全国精神保健福祉業務研修会 Web開催

今こそ語ろう精神保健福祉を我が事に  
～こころ明るい毎日を～



令和4年2月19日(土)13:00~17:00

主催 全国精神保健福祉相談員会  
後援(予定) 厚生労働省 全国保健所長会 全国精神保健福祉センター長会

参加費:4,000円  
会 員: 無 料

【研修会開催にあたって】

みなさん、自分自身のメンタルヘルスは大丈夫ですか？

そう聞かざるを得ないほど、保健所・市町村とも新型コロナウイルス感染症への対応に追われている状況が続いています。日常の精神保健福祉業務に加え、多くの応援業務をこなしてきた皆さんの活躍に改めて敬意を表します。

令和3年度の全国研修会は、全国研修会の開催以来初めてのオンライン開催となります。

新型コロナウイルス感染症の影響によるものとはいえ、みなさまと顔を合わせての交流ができないことに忸怩たる思いがあります。しかし、この間、昨年予定されていた滋賀大会の実行委員を含め、多くの理事・会員の準備により開催にこぎつけられました。準備に携わってきた皆様にも改めてお礼申し上げます。

当会は全国研修会で多くの仲間に関わり、多くの交流を行い、議論することで研鑽を積んできましたが、そんな特徴を今後も引き継いでいけるのか…現在の状況やアフターコロナを考えるとこのようなことすら危惧も感じます。

また、精神保健福祉を取り巻く環境も変化し続けています。今後は精神障害にも対応した地域包括ケアの実現に向けて、各自治体での活動がより具体的になっていくとともに、措置入院や移送制度、市町村長同意事務など、行政特有の課題についても議論を深めていかなければならない時期となってきました。

今回の全国大会でも、最新の状況や先駆的な事業の情報共有をしていきます。さらに、分科会の中ではできるだけ参加者の交流が図るよう企画をさせていただきました。みなさんの職場環境は例年以上に厳しいと思いますが、ぜひご参加いただけると幸いです。

全国精神保健福祉相談員会 会長 篠崎 安志

全体スケジュール

	13:00～13:10	13:10～14:00	14:15～16:15	16:30～17:00	17:15～
2/19	開会	実践報告	分科会 1 分科会 2 分科会 3	閉会	総会 ※会員のみ
オンデマンド	厚生労働省（前後1週間程度）				

○実践報告 ～地域共生社会の実現に向けて～ 報告者:熊取谷 晶(京都府)

令和3年3月、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に係る検討会報告書がとりまとめられ、全国各地で実践が進められています。並行して、市町村では、社会福祉法改正や重層的支援体制整備事業等により地域包括ケア体制の整備が更に進展し始めています。すべての住民を対象とした市町村主体の地域包括ケアシステム構築に向けて自治体機能の強化、人材の確保・育成が急務となっています。政策研究や検討会に関わってきた全国精神保健福祉相談員会の実践について報告します。

■ 分科会1 Zoomミーティング

テーマ「今後の地域包括ケア体制を

精神保健の視点からアプローチする」

～私たちが繋がる!住民と繋がる!地域と繋がる!～

運営:全精相「地域包括ケアワーキンググループ」

この分科会は、仮想市町の事例をもとに各地域のフォーマル、インフォーマルな資源や独自の取り組み等を互いに語り、学びあう実践交流の場を目的としています。

今後の「地域包括ケア体制」のあり方について、精神保健の視点から考える機会とし、全精相ならではの「協議の場」から町づくり、地域の体制整備に向けてのヒントをみつけましょう!モヤモヤしている人、お待ちしております!

※ 参加にあたって事前課題を用意します。

■ 分科会2 Zoomミーティング

基礎講座「近隣苦情が多い事例への相談対応、

こんな時どうしてますか」

講師:全精相「人材育成ワーキンググループ」

「23条通報です」とか「急ぎの相談なんですけど…」と電話を受ける度に、ドキドキしませんか?何よりあの緊張感! 時には限られた時間での対応が求められることもあり、正直、心臓に悪い。そんな、行政現場の最前線で、住民の方々を前に初めての相談業務で悩む方も多いのではないのでしょうか。

この分科会では、ミニ講座と事例検討を通じて、「こんなこと、誰も教えてくれなかった」「今さら、聞けない」など、いろいろな事を皆さんと共に語り合うことで、援助者としての明日への光、手がかりとなるようなキーワードを見出すことができる時間になればと思います。

■ 分科会3 Zoomミーティング

テーマ「リレーセッション 全国のなかまがつながろう!」

話題提供者:松岡 信一郎(和歌山県:和歌山市)  
門田 雅宏(滋賀県)

行政機関で働く私たちは、コロナ禍により本来業務に合わせ様々な業務にも従事していることかと思えます。

精神保健福祉を担う専任者が1人だったり、複数の業務を担うことも多く、様々な葛藤や悩みを抱え、「こんな時どうしたら」「そもそも誰に何を聞いたら」等悩むことも多くあります。自身のメンタルヘルスを保とうとするとき「孤立・孤独を防ぐ」視点は、非常に重要です。

分科会3では「つながり、語り、分かち合う」場をリモートで保障し、それぞれの機関の取組状況や想い、また、コロナ禍で工夫されていること等の報告をリレー形式で行います。

明日からの活力につながるものになりたいと考えています。ぜひお気軽な気持ちでご参加ください!

■ オンデマンド テーマ「精神保健医療福祉施策の動向と行政の役割」

講師 未定(厚生労働省 社会援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課)

最新の精神保健医療福祉施策の動向を踏まえ、今後における行政の役割等について講演いただきます。



## 申し込み方法 ～申し込みに関する留意事項～

「[当会ホームページ](#)」→「[研修会](#)」→「[申込](#)」からお申込みください。(検索→「[全国精神保健福祉相談員会](#)」<http://www.zenseisou.com>)

★申し込みは必ず**1人ずつ**お願いします。1人の申し込みで複数の方が参加することはできません。

★申込み後2日を過ぎても「[申込受理メール](#)」が届かない場合、研修会事務局へE-mail ([kensyu@zenseisou.ciao.jp](mailto:kensyu@zenseisou.ciao.jp))にてご連絡ください。

\* 貴機関所定書式(請求書・領収書・債権者登録書等)での対応が必要な場合は、**返信用封筒(切手添付)**を同封の上、**必要事項を全て記入した書類**を下記へ郵送してください。内容確認後、押印して返送します。参考書式はホームページにてダウンロードしてください。

【郵送先】〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2 埼玉県立精神保健福祉センター 救急情報担当 河本 宛

申し込み  
フォーム入力



受付メール受信  
(自動送信)



参加費入金



Zoom情報等通知  
(概ね1週間前)

\* 入力時のメールアドレスは、**研修会当日に使用するアドレス**を正確にご記入ください。

★**参加費等の振り込みに関する留意事項**★(振込手数料は申込者のご負担となります)

【**公費**で参加される方へ】 参加者と振込名の照合のため、**必ず**研修会事務局あて「**振込名**」と「**入金予定日**」(概ねで構いません)をE-mail でご連絡ください。連絡後、入金日の変更連絡は不要です。研修会終了後の入金も可能ですが、その旨を事前にご連絡ください。

【**自費**で参加される方へ】 申込み後、**7日以内に入金**してください。

★**申込不受理・キャンセルの取り扱いについて**  
申込者の都合によるキャンセルはできません。

振込先 ゆうちょ銀行 店番038 普通口座 口座番号 6761441  
名 義 全国精神保健福祉相談員会(ゼンコケイソホクフクシカウダンイカイ)※**会長名は含みません**  
ゆうちょ銀行(同行):記号10360 番号67614411 (名義は上記と同じ)

【研修会事務局】 埼玉県立精神保健福祉センター 救急情報担当 河本 Email : [kensyu@zenseisou.ciao.jp](mailto:kensyu@zenseisou.ciao.jp)

令和3年12月15日(水)～令和4年1月31日(月)必着